



**UNDER
STAND**

Hair Creation- 2025 AW

AUTUMN / WINTER 2025



1. 名称

UNDERSTAND(アンダースタンド)

「UNDERSTAND」とは、英語で「理解する」「把握する」などの意味で、若い世代の文化や多様性を理解し共感・共有しようという意味が込められている。

2. 対象

ファッションや音楽(ユースカルチャー)に興味のある若い世代。“ユースカルチャー”とは、若者文化やミュージック、アートをイメージさせること。

3. 提案の趣旨

若年層へ理容のイメージアップと理容師を増やすことを意識。

4. ヘアスタイルの特徴

- ①ロック&ユースカルチャーをテーマとした若い世代に好まれるヘアデザイン。
- ②スクリューパーマ(スクパー)を取り入れた新しいパーマスタイル。
- ③日本人の黒髪を活かすヘアカラー。
- ④男性・女性と春夏・秋冬の2つのヘアデザイン。



UNDERSTAND イメージ動画

<https://youtu.be/Jycsb-P0gVQ>

1 簡単なQRコードの読み取り方

最近のスマートフォンやタブレットでは、カメラをQRコードにかざすだけで自動的に読み取れます。

2 アプリをダウンロード

カメラで読み取れないときは、QRコードを読み取るアプリをインストールしましょう。機種に応じてPlayストアまたはAppストアにて「QRコードリーダー」と入力し検索→候補の中から好みのアプリを選んでください。

3 QRコードを読み取る

QRコードを読み取る時、レンズのピントは寄せたり引いたりして調整し、しっかり合わせてください。

UNDERSTAND

UNDERSTAND

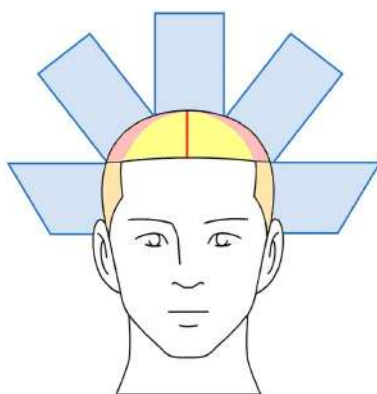
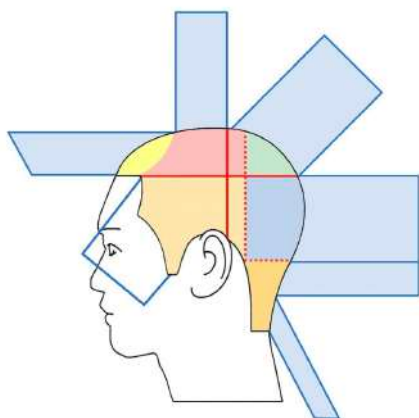
Hair Creation-2025 AW 2



UNDERSTAND

UNDERSTAND

UNDERSTAND



UNDERSTAND

技術プロセス動画

<https://youtu.be/D7sQyTotxVc>



ブロッキング

1



トップをセンターで左右に分けます。

2



耳の付け根から直上にラインをとります。耳の付け根ラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。

3



ホーシューパート上でクラウンをとります。センターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブを分けます。

プライマリーシェーブ

1



サイドは横スライスをとり、90度ダウンステム (オンザスキン) に引き出し、耳たぶ下の長さでフラットカットしこれをガイドとします。

2



横スライスをとり、エレベーションに引き出しフラットカットしていきます。コームを頭皮に当てることでエレベーションの角度が確認できます。

3



トップは横スライスをとり、ボトムをガイドにエレベーションに引き出し、センターラインまでフラットカットしていきます。ホーシューパートよりも上は床面に平行に近くなっていきます。

プライマリーシェーブ

4



フロントはバイアススライスをとり、ダウンステムに引き出し、鼻先をガイドにフラットカットします。小さな三角形をとるようにしましょう。

5



再度、バイアススライスをとり、ダウンステムに引き出し、ガイドに合わせてカットしていきます。

6



片側3パネルで耳の付け根ラインまで切り進めます。

7



センターにガイドを作ります。フロントラインと耳の付け根ラインの1/2をガイドに、トップをセムレイヤーにフラットカットします。

8



縦スライスをとり、センターをガイドに、トップをラウンド状でセムレイヤーにフラットカットしていきます。

9



センターサイドは45度アップステムに引き出し、センターをガイドにラウンド状でセムレイヤーにフラットカットしていきます。

10



クラウンは耳の付け根ライン上、センターの髪を45度アップステムに引き出し、ポイントカットし、これをガイドとします。

11



放射線状に縦スライスをとり、45度アップステムに引き出し、ポイントカットします。片側4パネルで切り進めます。

12



バックは縦スライスをとり、床平行に引き出し、クラウンをガイドにラウンド状にセムレイヤーにポイントカットしていきます。

13



ネーブは縦スライスをとり、床平行に引き出し、バックをガイドにラウンド状にセムレイヤーでポイントカットしていきます。

14



最後にダウンステムに引き出し、毛先をワンレングスでポイントカットしていきます。

セカンダリーシェーブ

1



セカンダリーシェーブ前のドライを行います。ハンドドライで7割くらいの水分を乾かした後、ラップドライで頭の丸みに合わせ、髪の方向性を整えます。

2



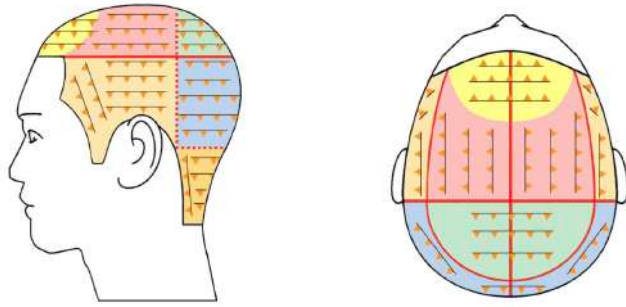
トップ、クラウン、サイドは、スタンダードセクションに取り、シンプルアングルでモデレートな位置までポイントカットを行います。

3



ネーブはスタンダードセクションに取り、バラレルアングルでモデレートな位置からスライドカットを行います。最後に毛先のニュアンスをカッターで調整します。

ヘアカラー



撮影はレディースマネキンを使用しているため、解説もそれに合わせたものとなっていますが、展開図はメンズマネキンの場合となるため解説と合わない場合があります。ホイルの枚数はモデルに合わせて調整してください。



1 トップをセンターで左右に分けます。耳後部から直上にサイドラインをとり、サイドラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。ホーシューパート上でクラウンをとり、センターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブに分けます。正中線上、フロントラインとサイドライン間の1/2でフロントをとり



2 ネーブはネーブラインと並行にスライスを取り、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。ホイルで丁寧に包み込んでいきます。続いて横スライスでウィーピングを行っていきま



3 バックは横スライスでウィーピングを行っていきま



4 サイドはフェイスラインと並行にスライスを取り、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。フェイスラインは2スライス程度、ホイルで丁寧に包み込んでいきま



5 続いて横スライスでウィーピングを行っていきま



6 クラウンは横スライスでウィーピングを行っていきま



7 トップは横スライスでウィーピングを行っていきま

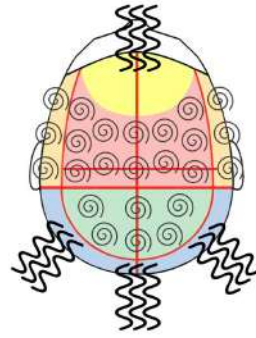
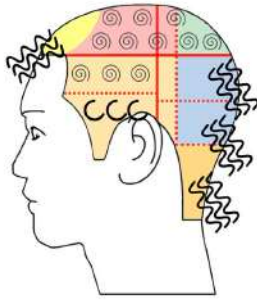


8 フロントはフェイスラインと並行にスライスを取り、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。3スライス程度、ホイルで丁寧に包み込んでいきま



9 ホイルワーク終了です。

パーマ



1 トップをセンターで左右に分けます。



2 耳の付け根から直上にラインをとり、耳の付け根ラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。サイドは1/2の高さでゾーン1とゾーン2に分けます。正中線上、フロントラインと耳の付け根ライン間の1/2でフロントとトップを分けます。ホーシューパート上でクラウンをとり、



3 バックセンターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブを分けます。バックは真ん中と左右に3分割します。ネーブは左右に2分割します。



4 サイドのゾーン1(下部)はピンパーマで行います。フラットカールでリバース方向にワインディングしていきます。



5 ネーブは1スライスで、12ミリのロッドを使用し、波巻きでワインディングをします。



6 バックの各ブロックは1/2の高さで上下に分けます。ネーブと同様に、それぞれ1スライスで、12ミリのロッドを使用し、波巻きでワインディングをしていきます。



7 フロントは1スライスで12ミリのロッドを使用し、波巻きでワインディングをします。



8 13ミリのロッドを使用し、スクリューパーマ(スクパー)を行っています。根元の立ち上がりをつけながら、らせん状のウェーブを出せるのが特長です。



9 サイド・ゾーン2(上部)に続いて、トップとクラウンにも13ミリのロッドを使用し、スクリューパーマを行っています。



10 ワインディング終了です。

ヘアスタイリング



タオルドライ後、ソフトタイプのフォームを塗布し全体に揉み込みまんべんなく馴染ませていきます。



ドライヤーを使用し乾かしていきます。ディフューザーを使用することでウェーブを崩さずにドライが可能です。



バームを使用しうるおい感を与えながらディテールを整えていきます。

仕上がり



フロント



左サイド



バック



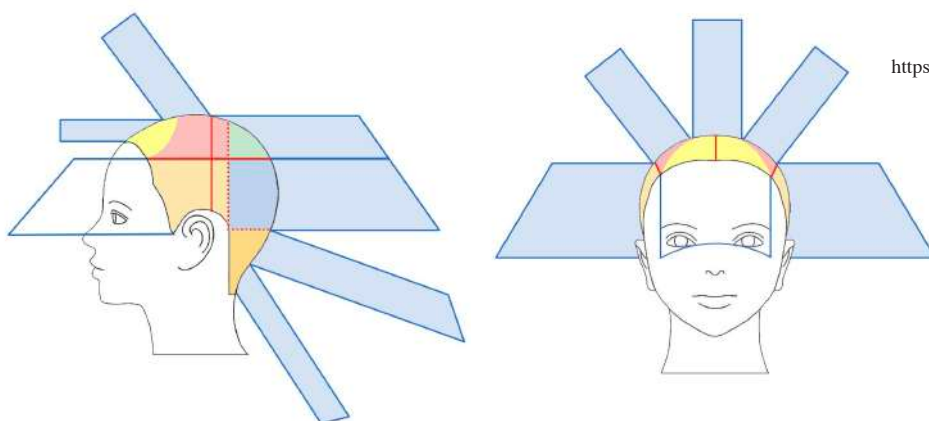
右サイド

Ladie's Style

UNDERSTAND

技術プロセス動画

<https://youtu.be/ndKGao7loho>



ブロッキング



1 トップをセンターで左右に分けます。



2 耳の付け根から直上にラインをとります。耳の付け根ラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。



3 ホーシューパート上でクラウンをとります。センターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブに分けます。

プライマリーシェーブ



1 サイドは縦スライスで4つに分け、フェイスラインの髪を縦スライスで正面に床平行に引き出し、ホーシューパート上9センチの長さで45度レイヤーにフラットカットしガイドを作ります。



2 2パネル目から耳の付け根ラインにむけて、徐々にパネルの引き出す角度を後方に開いてフラットカットします。



3 耳の付け根ラインでは、パネルの引き出す角度は90度です。



4 バックは4パネルでカットしていきます。縦スライスで床平行に引き出し、サイドをガイドにフラットカットします。



5 徐々に引き出す角度を開いて、フラットカットしていきます。最後の4パネル目のカットは、後方45度に引き出し、フラットカットします。



6 ネーブは横スライスを取り、真下に引き出し、肩下の長さをガイドに、ワンレングスでスクエアにポイントカットします。

プライマリーシェーブ



7 フロントはバイアススライスをとり、ダウンステムに引き出し、眉間をガイドにフラットカットします。小さな三角形をとるようにしましょう。



8 再度、バイアススライスをとり、ダウンステムに引き出し、ガイドに合わせてフロントをカットします。



9 片側3パネルで耳の付け根ラインまで切り進めます。



10 フロントにレイヤーを入れるため、縦スライスをとり、床平行に引きだして、放射線状にワンパネルダイレクションで、耳の付け根ラインまで切り進めます。



11 再度縦スライスで、45度アップステムに引き出しポイントカットします。放射線状にワンパネルダイレクションで、耳の付け根ラインまでポイントカットで切り進めます。



12 クラウンは耳の付け根ライン上の正中線上の髪とホーシューバート上の髪を結ぶ45度のラインをガイドとします。



13 放射線状に縦スライスをとり、床平行にボトムと同様の角度で引き出しフラットカットします。



14 サイドからバックにむけて、ボトムと同様の引き出す角度で進んでいきます。

セカンダリーシェーブ



1 セカンダリーシェーブ前のドライを行います。ハンドドライで7割くらいの水分を乾かした後、ラップドライで頭の丸みに合わせ、髪の方角性を整えます。

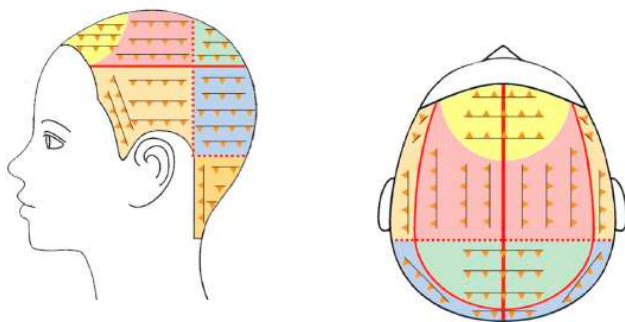


2 トップ、クラウン、サイドは、スタンダードセクションに取り、シンプルアングルでモデレートな位置までポイントカットを行います。



3 ネープはスタンダードセクションに取り、パラレルアングルでモデレートな位置からスライドカットを行います。

ヘアカラー



1 トップをセンターで左右に分けます。耳後部から直上にサイドラインをとります。サイドラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。ホーシューパート上でクラウンをとります。バックセンターの1/2から耳後部を結ぶラインでバックとネーブを分けます。正中線上、フロントラインとサイドライン間の1/2でフロントをとります。



2 ネーブはネーブラインと並行にスライスを取り、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。ホイルで丁寧に包み込んでいきます。



3 続いて横スライスでウィーピングを行います。先ほどと同様に3スライスでホイルワークを行います。



4 バックは横スライスでウィーピングを行います。5スライスでホイルワークを行っていきます。



5 フェイスラインと並行にスライスを取り、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。2スライス程度、ホイルで丁寧に包み込んでいきます。



6 続いて横スライスでウィーピングを行います。3スライス、ホイルワークを行います。



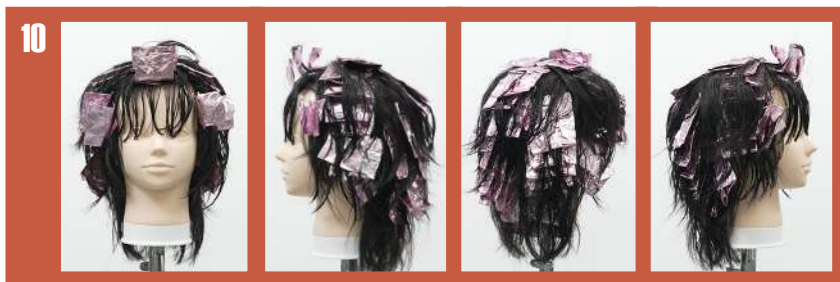
7 クラウンは横スライスでウィーピングを行います。4スライスでホイルワークを行っていきます。



8 トップは横スライスでウィーピングを行います。4スライスでホイルワークを行います。

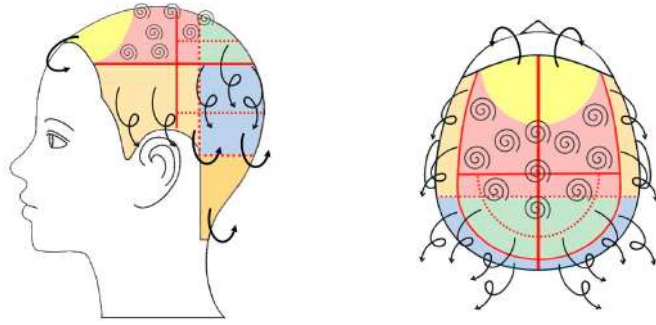


9 フロントはフェイスラインと並行にスライスを取り、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。3スライス程度、ホイルで丁寧に包み込んでいきます。



10 ホイルワーク終了です。

パーマ



1 トップをセンターで左右に分けます。耳の付け根から直上に耳の付け根ラインをとりまします。耳の付け根ラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。ホーシューパート上でクラウンをとりまします。バックセンターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネープに分けます。



2 クリームタイプのパーマ1剤を塗布します。ネープは1スライスで、17ミリのロッドを使用し、外巻きでワインディングをします。



3 バックは1/2の高さで上下半分に分けます。下部は真ん中と左右に3分割し、それぞれ1スライスで、17ミリのロッドを使用して、外巻きでワインディングをしていきます。



4 上部は左右に2分割し、17ミリのロングロッドを使用して、スパイラルにワインディングしていきます。フロント側はリバース方向、バック側はフォワード方向に巻いていきます。



5 サイドは左右に2分割し、それぞれ17ミリのロングロッドを使用して、リバース方向でスパイラルにワインディングしていきます。



6 クラウンは正中線上1/2の高さで、ホーシューパートのラインに合わせて上下に分けます。下部を20ミリの円すいロッドを使用し、スパイラルにワインディングしていきます。フロント側はリバース方向、バック側はフォワード方向に巻いていきます。



7 正中線上、フロントラインと耳の付け根ライン間の1/2でフロントをとりまします。センターで左右に分け、14ミリのロッドで内巻きにワインディングしていきます。



8 14ミリと13ミリのロッドを使用し、トップとクラウンの上部にスクルーパーマ(スクーパー)を行っていきます。毛先には14ミリ、中間・根元には13ミリを使用します。



9 ワインディング終了です。

ヘアスタイリング

1



タオルドライ後、ソフトタイプのフォームを塗布し全体に揉み込みまんべんなく馴染ませていきます。

2



ドライヤーを使用し乾かしていきます。ディフューザーを使用することでウェーブを崩さずにドライが可能です。

3



バームを使用しうるおい感を与えながらディテールを整えていきます。

仕上がり



フロント



左サイド



バック



右サイド



**UNDER
STAND**

Hair Creation- 2025 SS

SPRING/SUMMER 2025



1. 名称

UNDERSTAND(アンダースタンド)

「UNDERSTAND」とは、英語で「理解する」「把握する」などの意味で、若い世代の文化や多様性を理解し共感・共有しようという意味が込められている。

2. 対象

ファッションや音楽(ユースカルチャー)に興味のある若い世代。“ユースカルチャー”とは、若者文化やミュージック、アートをイメージさせること。

3. 提案の趣旨

若年層へ理容のイメージアップと理容師を増やすことを意識。

4. ヘアスタイルの特徴

- ①ロック&ユースカルチャーをテーマとした若い世代に好まれるヘアデザイン。
- ②スクリューパーマ(スクパー)を取り入れた新しいパーマスタイル。
- ③日本人の黒髪を活かすヘアカラー。
- ④男性・女性と春夏・秋冬の2つのヘアデザイン。



UNDERSTAND イメージ動画

<https://youtu.be/mP8LDr01TiE>

1 簡単なQRコードの読み取り方

最近のスマートフォンやタブレットでは、カメラをQRコードにかざすだけで自動的に読み取れます。

2 アプリをダウンロード

カメラで読み取れないときは、QRコードを読み取るアプリをインストールしましょう。機種に応じてPlayストアまたはAppストアにて「QRコードリーダー」と入力し検索→候補の中から好みのアプリを選んでください。

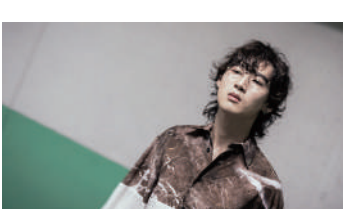
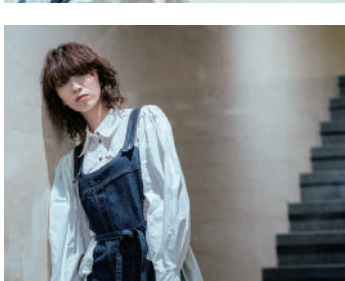
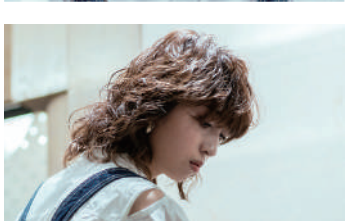
3 QRコードを読み取る

QRコードを読み取る時、レンズのピントは寄せたり引いたりして調整し、しっかり合わせてください。

UNDERSTAND

UNDERSTAND

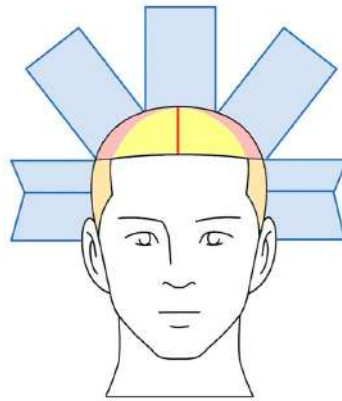
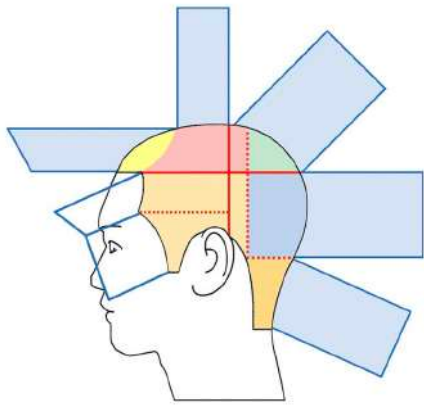
Hair Creation- 2025 SS 2



UNDERSTAND

UNDERSTAND

Men's Style



UNDERSTAND

技術プロセス動画

<https://youtu.be/548wEIR4Om0>



ブロッキング

1



トップをセンターで左右に分けます。

2



耳の付け根から直上にラインをとり、耳の付け根ラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。

3



ホーシューパート上でクラウンをとり、センターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブに分けます。

プライマリーシェープ

1



サイドはZone1(下部)とZone2(上部)を分けるライン上で上下に分け、9センチの長さで床と水平に引き出しガイドを作ります。

2



上部 (Zone2) はガイドに合わせ、ダウンステムでポイントカットします。

3



下部 (Zone1) はガイドに合わせ、リフティングでポイントカットします。

4



トップのカットはホーシューパートをガイドに横スライスをとり、エレベーションに引き出し、フラットカットしていきます。

5



コームを頭皮に当てることでエレベーションの角度が確認できます。

6



4パネルでセンターラインまで切り進めます。センターラインまで切り進めるにしたがい引き出し角度は床面に平行に近くなっていきます。

プライマリーシェープ

7



フロントはバイアススライスをとり、ダウンステムに引き出し、鼻先をガイドにフラットカットします。小さな三角形をとるようにしましょう。

8



再度、バイアススライスをとり、ダウンステムに引き出し、ガイドに合わせてカットしていきます。片側3パネルでカットします。耳の付け根ラインまで切り進めます。

9



センターにガイドを作ります。フロントラインと耳の付け根ラインの1/2をガイドに、トップをセムレイヤーにポイントカットしていきます。

10



縦スライスをとり、センターをガイドに、トップをラウンド状でセムレイヤーにポイントカットしていきます。

11



センターサイドは45度アップステムに引き出し、センターをガイドにラウンド状でセムレイヤーにポイントカットしていきます。

12



クラウンは耳の付け根ライン上、センターの髪をガイドに、放射線状に縦スライスをとり、45度アップステムに引き出し、ポイントカットしていきます。

13



バックは縦スライスをとり、床平行に引き出し、クラウンをガイドにラウンド状でセムレイヤーにポイントカットしていきます。

14



ネーブは縦スライスをとり、30度ダウンステムに引き出し、バックをガイドにラウンド状でセムレイヤーにポイントカットしていきます。

セカンダリーシェープ

1



セカンダリーシェープ前のドライを行います。ハンドドライで7割くらいの水分を乾かした後、ラップドライで頭の丸みに合わせ、髪の方角性を整えます。

2



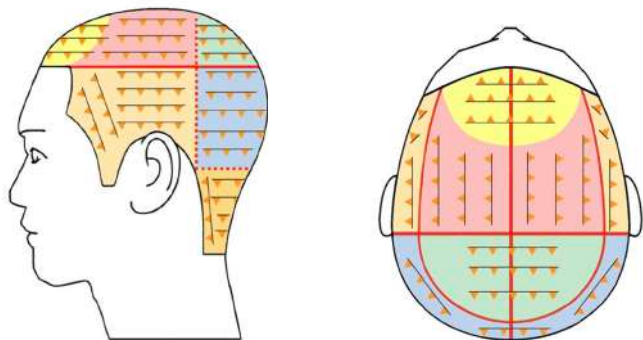
トップ、クラウン、サイドは、スタンダードセクションに取り、シンプルアングルでモデレートな位置までポイントカットを行います。

3



ネーブはスタンダードセクションに取り、パラレルアングルでモデレートな位置からスライドカットを行います。最後に毛先のニュアンスをカッターで調整します。

ヘアカラー



撮影はレディースマネキンを使用しているため、解説もそれに合わせたものとなっていますが、展開図はメンズマネキンの場合となるため解説と合わない場合があります。ホイルの枚数はモデルに合わせて調整してください。



トップをセンターで左右に分けます。耳後部から直上にサイドラインをとり、サイドラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。ホーシューパート上でクラウンをとり、センターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブに分けます。正中線上、フロントラインとサイドライン間の1/2でフロントをとります。



ネーブはネーブラインと並行にスライスを取り、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。ホイルで丁寧に包み込んでいきます。続いて横スライスでウィーピングを行っていきます。3スライス、ホイルワークを行っていきます。



バックは横スライスでウィーピングを行っていきます。5スライスでホイルワークを行っていきます。



クラウンは横スライスでウィーピングを行っていきます。4スライスでホイルワークを行っていきます。



サイドはフェイスラインと並行にスライスを取り、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。フェイスラインは2スライス程度、ホイルで丁寧に包み込んでいきます。



続いて横スライスでウィーピングを行っていきます。3スライスでホイルワークを行っていきます。



トップは横スライスでウィーピングを行っていきます。4スライスでホイルワークを行っていきます。

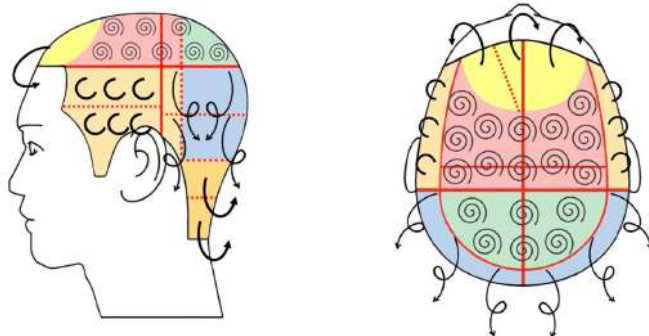


フロントはフェイスラインと並行にスライスを取り、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。3スライス程度、ホイルで丁寧に包み込んでいきます。



ホイルワーク終了です。

パーマ



1 トップをセンターで左右に分けます。



2 耳の付け根から直上にラインをとり、耳の付け根ラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。ホーシューパート上でクラウンをとり。



3 バックセンターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブに分けます。



4 クリームタイプのパーマ1剤を塗布します。ネーブは上下に分け、下部と上部はそれぞれ1スライスで、12ミリのロッドを使用し、外巻きでワインディングをします。



5 バックは上下に分け、下部は真ん中と左右に3分割し、13ミリのロッドでフロント側から、フォワード、リバース、フォワードの順でスパイラルにワインディングをします。上部も同様に3分割し、13ミリのロッドでフロント側から、リバース、フォワード、リバースの順で使用し、交互にスパイラルにワインディングをします。



6 サイドは上下に分け、下部上部ともにピンパーマを行います。フラットカールでリバース方向にワインディングしていきます。



7 フロントは、正中線上、フロントラインと耳の付け根ライン間の1/2でフロントとトップに分けます。フロントは73パートをとり、15ミリのロッドで内巻きにワインディングをします。



8 トップは13ミリと12ミリのロッドを使用し、スクリューパーマ(スクリュー)を行っていきます。毛先には13ミリ、中間・根元には12ミリを使用します。



9 クラウンもトップと同様に13ミリと12ミリのロッドを使用し、スクリューパーマを行っていきます。毛先には13ミリ、中間・根元には12ミリを使用します。



10 ワインディング終了です。

ヘアスタイリング

1



タオルドライ後、ソフトタイプのフォームを塗布し全体に揉み込みまんべんなく馴染ませていきます。

2



ドライヤーを使用し乾かしていきます。ディフューザーを使用することでウェーブを崩さずにドライが可能です。

3



バームを使用しうるおい感を与えながらディテールを整えていきます。

仕上がり



フロント



左サイド

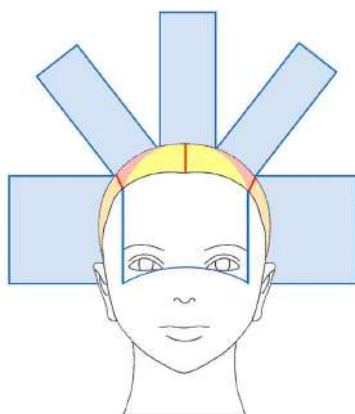
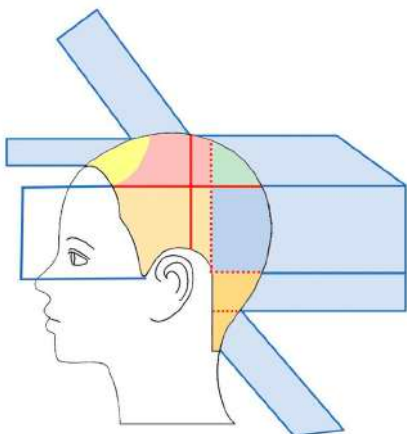


バック



右サイド

Ladie's Style



UNDERSTAND

技術プロセス動画

https://youtu.be/u_MRF2hz1ks



ブロッキング



1 トップをセンターで左右に分けます。



2 耳の付け根から直上にラインをとり、耳の付け根ラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。



3 ホーシューパート上でクラウンをとり、センターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブに分けます。

プライマリーシェープ



1 サイドは縦スライスで4つに分け、フェイスラインの髪を縦スライスで正面に床平行に引き出し、9センチの長さでセームレイヤーにフラットカットしガイドを作ります。



2 耳の付け根ラインにむけて、徐々にパネルの引き出す角度を後方に開いてフラットカットしていきます。耳の付け根ラインは90度です。



3 バックは4パネルに分け、サイドをガイドに、縦スライスで床平行に引き出し、セームレイヤーにフラットカットしていきます。



4 徐々に引き出す角度を開いて、フラットカットしていきます。最後の4パネル目のカットは、縦スライスで床平行に後方0度に引き出し、フラットカットします。



5 ネーブはバックと同様に、縦スライスで床平行に引き出し、バックをガイドにセームレイヤーに、フラットカットしていきます。



6 横スライスをとり、真下に引き出し、肩につく長さでワンレングスでスクエアにポイントカットしていきます。

プライマリーシェーブ



7 フロントはバイアススライスをとり、ダウンステムに引き出し、眉間をガイドにフラットカットします。小さな三角形をとるようにしましょう。



8 再度、バイアススライスをとり、ダウンステムに引き出し、ガイドに合わせてフロントをカットします。片側3パネルで耳の付け根ラインまで切り進めます。



9 フロントにレイヤーを入れるため、縦スライスをとり、床平行に引きだしてグラデーションの角をカットします。放射線状にワンパネルダイレクションで、耳の付け根ラインまで切り進めます。



10 再度縦スライスで、45度アップステムに引き出しポイントカットします。



11 放射線状にスライスをとり、ワンパネルダイレクションで、耳の付け根ラインまでポイントカットで切り進めます。



12 クラウンは、耳の付け根ライン上の正中線上の髪とホーシューパート上の髪を結ぶ45度のラインをガイドとします。



13 放射線状に縦スライスをとり、床平行に引き出しポイントカットします。



14 サイドからバックにむけて、ボトムと同様の引き出す角度で引き出しポイントカットしていきます。

セカンダリーシェーブ



1 セカンダリーシェーブ前のドライを行います。ハンドドライで7割くらいの水分を乾かした後、ラップドライで頭の丸みに合わせ、髪の方角性を整えます。

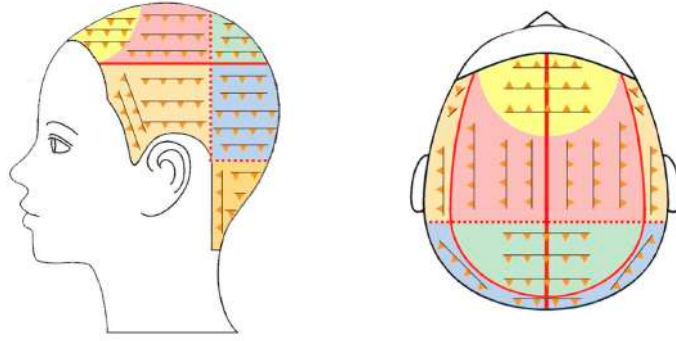


2 トップ、クラウン、サイドは、スタンダードセクションに取り、シンプルアングルでモデレートな位置までポイントカットを行います。



3 ネーブはスタンダードセクションに取り、パラレルアングルでモデレートな位置からスライドカットを行います。最後にカットレザーで毛先のニュアンスを調整します。

ヘアカラー



1



トップをセンターで左右に分けます。耳後部から直上にサイドラインをとり、サイドラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。ホーシューパート上でクラウンをとり、バックセンターの1/2から耳後部を結ぶラインでバックとネープを分けます。正中線上、フロントラインとサイドライン間の1/2でフロントをとります。

2



ネープラインと並行にスライスをとり、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。ホイルで丁寧に包み込んでいきます。

3



続いて横スライスでウィーピングを行います。先ほどと同様に3スライスでホイルワークを行っています。

4



バックは横スライスでウィーピングを行います。5スライスでホイルワークを行っています。

5



クラウンは横スライスでウィーピングを行います。クラウンは4スライスでホイルワークを行っています。

6



フェイスラインと並行にスライスをとり、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。フェイスラインは2スライス程度、ホイルで丁寧に包み込んでいきます。

7



続いて横スライスでウィーピングを行います。3スライスでホイルワークを行っています。

8



トップは横スライスでウィーピングを行います。4スライスでホイルワークを行っています。

9



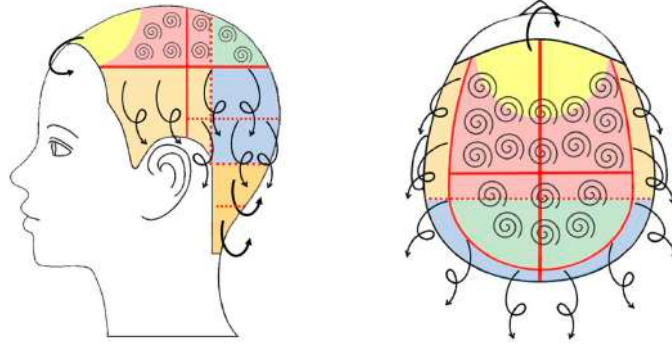
フロントはフェイスラインと並行にスライスをとり、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。3スライス程度、ホイルで丁寧に包み込んでいきます。

10



ホイルワーク終了です。

パーマ



1 トップをセンターで左右に分けます。耳の付け根から直上にラインをとりま。耳の付け根ラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。ホーシューパート上でクラウンをとりま。バックセンターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブに分けます。



2 クリームタイプのパーマ1剤を塗布します。ネーブは上下に分け、下部と上部はそれぞれ1スライスで、13ミリのロッドを使用し、外巻きでワインディングをしていきます。



3 バックは上下に分け、下部は左右に2分割し、15ミリのロッドを使用して、フロント側はフォワード方向、バック側はリバース方向にスパイラルにワインディングをしていきます。



4 バック上部は16ミリの円すいロッドを使用し、下部と同じ方向にスパイラルにワインディングをしていきます。



5 サイドは左右に2分割し、13ミリのロッドを使用して、それぞれリバース方向にスパイラルにワインディングをしていきます。



6 正中線上、フロントラインと耳の付け根ラインの1/2でフロントをとりま。17ミリのロッドで内巻きにワインディングします。



7 トップは14ミリと13ミリのロッドを使用し、スクリューパーマ(スクーパー)を行っていきます。毛先には14ミリ、中間・根元には13ミリを使用します。



8 クラウンもトップと同様に14ミリと13ミリのロッドを使用し、スクリューパーマを行っていきます。毛先には14ミリ、中間・根元には13ミリを使用します。



9 ワインディング終了です。

ヘアスタイリング

1



タールドライ後、ソフトタイプのフォームを塗布し全体に揉み込みまんべんなく馴染ませていきます。

2



ドライヤーを使用し乾かしていきます。ディフューザーを使用することでウェーブを崩さずにドライが可能です。

3



バームを使用しうるおい感を与えながらディテールを整えていきます。

仕上がり



フロント



左サイド



バック



右サイド

メンズメイク

UNDERSTAND

メイクプロセス動画

<https://youtu.be/UiYPcJVKA0>



日常も特別な日も、いつでも最高の印象を与える自分に。
あなたの可能性を最大限に引き出すその一歩を踏み出しませんか



Before

全体的にバラつきのある眉毛の印象なので、眉、肌の色、唇を整えて好印象に整えましょう。



眉毛のカット

アイブローシザーを使用し、伸びすぎている眉毛や、眉毛まわりのうぶ毛、ボサボサした印象を与えている毛をカットし形を整えます。切り過ぎに注意しましょう。



ファンデーションを塗布します

ファンデーションをスポンジに適量取り、クマ等をカバーするようにポイント的に使用しましょう。



眉を整えます

眉の形状や色を整えることで表情がより鮮明になります。アイブローペンシルを使用し、眉毛の流れを眉頭から眉尻方向に向かって整えましょう。



唇の色を整えます

男性の場合、光沢感のない自分の唇の色に近いナチュラルな色のリップを選ぶと、血色や肌つやを良く見せることができますので好印象につながりやすくなります。



After

メンズメイクはご自身の肌を今以上にきれいに見せることができます。シェービングと組み合わせると、髭やうぶ毛の影響によるファンデーションのムラを抑え、メイクの質の向上と印象アップに効果的です。

Kracie
Professional

バサラ

いい男には、理由がある。
大人の男のエイジングケア。

「大人の男のエイジングケア（※1）」をコンセプトに、男性に向けたトータルケアを提案する「BASARA（バサラ）」。年齢を重ねることは、男性にとってある種、喜ばしいこと。積み重ねた経験や知識が、深みとして顔や所作にあらわれるから。その一方で、身体的には30歳を過ぎると、肌の乾燥や、頭皮のかさつき、髪のもたまりにくさを感じるもの。そんな大人の男の肌・頭皮・髪のために生まれたスキンケア・スカルプケア・スタイリングシリーズ。香りにまでこだわり、大人の男としての風格を限りなく自然に演出。スタイリッシュな清潔感を醸し出し、遊びのシーンでも、仕事のシーンでも、洗練された佇まいに。



Lebel

ALL YOUR OWN

TRIE

**自分らしさは、
質感に宿る。**

うるうる。ふんわり。束感。毛流れ。髪が
まとうニュアンスを、好きに選べて簡単に
メイクアップできるトリエなら、毎日のヘ
アスタイリングがもっと楽しくなる。今日
は、どんな自分になってみる？



THEO

FREIMAN

**もっと自由に。
“魅せる”を楽しむ
オトコたちへ。**

キメすぎない自然体のスタイル、色気がある
スタイル。どう在ることで、自分らしさを魅
せられるか。美の価値観は、つねに変わっ
ていく。美は、自由だ。だからこそ、THEO
FREIMAN は固定観念に縛られず、その時、
その時の美を追求しながら、美容をファッ
ションとして楽しむ男性のトータルケアを
叶えていく。





シンプルに、綺麗を、持ち歩く

植物のピュアオイルを取り入れた
髪にも、こころにも心地よい、ケア&スタイリング

移り変わるトレンドの中で、自分らしい流行を楽しんでもらいたい
という願いから生まれた『MODALIE モダリエ』。

そのときのシーンにあわせたアイテムをセレクトできるスタイリングライン。
毎日のスタイルに寄り添い、
飾りすぎないシンプルな綺麗を表現できるシリーズです。





Kracie
Professional

L'ORÉAL
PROFESSIONAL PRODUCTS



Lebel
ALL YOUR OWN

Jewels



FIOLE

T E X O S[®]